

第2回摂津市文化振興計画推進審議会会議録

日 時：令和4年9月30日（木） 午前10時から

場 所：市役所301会議室

出席委員：大賀委員、村上委員、仁木委員、阪本委員、布川委員、早田委員、北岡委員、
山下委員、朝倉委員、佐々木委員、杉浦委員、長崎委員

配布資料：・次第

- ・委員名簿
- ・第2期摂津市文化振興計画検証結果の報告
- ・第3期摂津市文化振興計画策定に係るアンケート調査結果報告
- ・第3期摂津市文化振興計画骨子案の検討
- ・セッピーイベントガイド

1. 開会

・事務局

ただ今より、第2回摂津市文化振興計画推進審議会を開会する。審議会規則第3条第2項の規定による過半数を満たしているため、本日の審議会が成立することを報告する。欠席委員からも事前に連絡をいただいている。本日は委員の交替があることもご報告しておく。

議事に入る前に、資料の確認をさせていただく。

（資料確認）

それでは、会長からあいさつと議事進行をお願いします。

・会長

お忙しいなかお集まりいただきありがとうございます。コロナ対策もしつつ活動を前に進めるべく、様々な場所で励まれていることと思う。今後の計画の検討をしていくが、長い目で見つつ、よりよくなるよう検討していきたい。ご協力をよろしくお願ひしたい。

議事案件に入る前に本日の審議会の公開、非公開について皆様にお諮りいただく。本日の案件について会議を公開するものとして審議を進めていただこうと思う。みなさまよろしいか。

（異議なし）

皆様の承諾を得られたものとして、本日の案件は公開するものとして進めさせていただく。それでは案件1について、事務局より説明をお願いします。

2. 議事

案件1 「第2期摂津市文化振興計画検証結果の報告」

・事務局

案件1 「第2期摂津市文化振興計画検証結果の報告」説明。

・会長

案件1についてご意見・ご質問等あるか。

・委員

8ページに記載の生涯学習大学について、既に募集して稼働していると思われるが、何名ほど受講されているのか、また、その年齢層を聞きたい。

・事務局

担当が生涯学習課であり、詳細資料が手元にないため回答できない。

・委員

承知した。ありがとう。

・委員

指標について、高齢化やニーズの多様化等もあるなかで、人数の増減だけをみる問題でもないのではないかと考える。こうしたものを数値で可視化することは難しい。内容や継続性などを鑑み、その指標の作り方を考えることも今後の課題ではないか。その点についてなにか考えておられたらお聞きしたい。

また、担当者が1、2年で変わってしまうと継続性に関して疑問もある。ベテラン職員の配置や有資格者などの配置も必要かと思うが、なにかお考えはあるか。

・事務局

今後の指標の設計についてという点でお答えする。おっしゃる通り、人数で評価すると実際の活動の結果がみえにくい。取組に記載していくなかで、新たにそれに沿った形で評価できるような方向を検討してまいりたい。人数はとりつつも、情報発信をどれぐらいしているかなど、活動に即したもので評価できる仕組みも検討していきたいと考えている。

・事務局

現在の指標の数字については、令和2年度から数字の取り方が変わっている部分もある。行政経営戦略における位置づけが変わったタイミングで指標の数字の取り方も変更になった。

・会長

担当職員が2年ごとに変わると内容が継承されず困ることもあるのではないかとというご質問については、なにかあるか。

・事務局

人事異動で職員が変わることはあるが、文化スポーツ課で活動団体を所管しているなかで、団体事業はマニュアル等で過去の活動も引き継ぎながら進めている。市民の皆さんともコミュニケーションを図り、継続性を考えながら仕事をしていきたい。

・委員

数値の指標はよいと思うが、月単位の進捗はホームページに掲載するなどしているか。指標をつくっても、参加する市民もみることができて進捗に興味がわくようにしなければ、自己満足で終わってしまうのではないか。

・事務局

月単位での進捗についてということだが、毎月イベントがあるものではないため、集計は年度単位となっている。その結果は市のホームページの政策推進課で公開している。

・委員

今後の課題だと思うが、市民に意識づけすることも考えてはいかがか。

・事務局

ご意見ありがとう。

・会長

ほかにご意見・ご質問等あるか。

(意見・質問なし)

案件2「第3期摂津市文化振興計画策定に係るアンケート調査結果報告」

・会長

それでは案件2について、事務局より説明をお願いします。

・事務局

案件2「第3期摂津市文化振興計画策定に係るアンケート調査結果報告」説明。

・会長

案件2についてご意見・ご質問等はあるか。

・委員

行政としては今のお話をどのようにお聞きになったか。

・事務局

年齢層の高齢化や、新しい方がなかなか入ってこない点は継続的に課題となっている部分である。家庭の事情や健康上の事情で外出できず、文化やスポーツに触れる機会が少ないというご意見もあった。これまでは出向いて顔を合わせるのがスタンダードだったが、この2年でオンラインが普及したこともあり、様々な手法を考え、課題に取り組んでいく必要を感じている。

・委員

少子高齢化のなかでオンラインという手法も言葉では聞く。若い人にはよいかもしいれないが、高齢者はできない人も多い。高齢化のなかでそこに頼ってしまう危険性も感じる。

また、文化やスポーツは経済に大きく左右される部分もある。経済的余裕があっても自由時間がない、あるいはその逆のとき、何が文化やスポーツか、となるのが現実。市が頑張っただけでどうにかする問題ではないが、そこを踏まえて工夫し、方策を模索していくことが我々の仕事かと思う。専門家にもご参画いただき、アドバイスいただく必要もあるかと思う。

摂津市内で活動する、発表する場が少ない点についても、施設のあり方を今後考えていく必要があるのではないか。大きな施設をつくらない方針でやってきたことについて検証する視点を、行政としてもってもらえたらと思う。

・事務局

おっしゃるように、摂津市は地域や生活に根差して活動に取り組まれている方が多くなっている。社会的要因から参加できないということも出てきているが、身近なところから関心を持っていただけるような活動を続けていかなければと思う。

・委員

課題の一つとして参加率という言葉があった。案件3にもかかってくるが、第3期計画の目標はなにかということをしっかり議論しなければいけない。参加率をあげるならば、例えば国がやっているマイナポイントのようなポイントを付与するなど、施策を強化するものはいくらでもあると思う。健康寿命を上げることが目標にするとか、摂津市がもっと魅力あるまちとなって、市内で活性化するだけでなく、外からもどんどん人が来ていただけるようなビジョンが必要。目標を明確に持っていきたい。

・会長

ありがとう。ほかにご意見等あるか。

・委員

全体的に総花的な考えだと感じる。それが悪いわけではないが、摂津市は特徴がないために知名度が低い。日本でトップクラスのなにかがあるとか、有名な文化芸術がない。個人的な考えだが、例えば、利用率の低いスポーツ施設を若者の間で流行しているニュースポーツができる施設につくりかえて、全体の底上げや、若い人の集客を図るなどしてはどうかと思う。総花的な考えでは資源や資金が分散してしまうが、一点集中させる考え方もよいのではないかと思う。

・委員

骨子案の計画のビジョンを読んだが、ファジーでよくわからない。先程ニュースポーツというご意見もあったが、そのように柱になるものが必要。なにがしたいのか明確でない。市民にも伝わりやすく、外の人にも魅力が伝わらない。例えば東大阪市はラグビーのまちとうたっている。それがビジョンであるかどうかは別として、一つの特徴と思われる。ニュースポーツの聖地というのも一つの案かと思う。メリハリのきいた施策が必要である。

・会長

ご意見ありがとう。一点お願いだが、現在は案件2のアンケート結果に関するご意見やご質問の時間である。骨子についてのご意見は次に回していただきたい。

・委員

目標や目的が明確でない計画はありえないと考える。今はアンケートに関するご意見をいただく時間ということは承知した。

・会長

そのようにお願いしたい。ほかにご質問・ご意見等はあるか。

(意見・質問なし)

案件3「第3期摂津市文化振興計画骨子案の検討」

・会長

案件3について、事務局より説明をお願いします。

・事務局

案件3「第3期摂津市文化振興計画骨子案の検討」説明。

・会長

案件3について、ご質問・ご意見等をお聞きする。

・委員

基本目標の2に関して考えた。色々な団体と会議する機会はあるが、会議だけで交流がない。お互い何をしているか、あまりわかっていない。町内や団体それぞれのなかだけではなく、市でなにかまとまった交流はできないか。コロナのこともありオンラインという手法もあるかもしれないが、顔を合わせた交流機会も必要。

・委員

ビジョンや基本目標は他市でも通用する内容だと感じる。摂津市ならではの独自性がほしい。それを決めた上での目標を設定し、現在出ている課題を克服するようなものを事務局でたたき台としてつくっていただきたい。具体性がみえない。摂津市を魅力あるまちにしたいというように、摂津市の価値を高めていけるような独自性がほしい。検討してほしい。

・委員

摂津市は小さいまちで目立たないが、先進的なこともやってきている。生きがい公社も活動の知名度が低い頃からやっており、先見の明があった。長年やっているが発信力が弱い。その点における力の入れ方も影響しているのではないか。そうしたものをどうアピールするか考えることも必要。ただやっているだけで終わってしまい、もったいない。

・委員

発信力の弱さはとても感じている。アンケート調査の結果でも気になっていたが、思ったより市のホームページも見られている。団体の一覧や活動紹介など、まとめて見られる工夫があればよい。市役所なので職員の移動はあると思うが、継続していける形の組織づくりから考えていただければと思う。

摂津市は人材も豊富だが、高年齢化で若年層へ引き継がれていかないことも課題。そういう部分にも力を入れなければいけない。ボランティア活動のような、子ども達も参加できるシステムがあれば、自分の知らないことを知るきっかけにもなり、活動もわかっていただける。まとまった情報源やシステムがあれば新しいこともできると思う。

・委員

キーワードとして発信力と強みの発掘ということがあった。吉村知事が、コロナ禍での府の指標を見える化したものをSNSで発信されていたのは、わかりやすい発信だった。摂津市ならではの発信があればと思う。

摂津市の強みという強みがあまり思い浮かばない。河川はあるのでマラソンやウォーキングは盛んである。健康増進のまちといった形で、例えば全国から参加できるマラソン大会をやるのもよいかも。大きな方策にもっていけるような目標設定、具体的な施策・発信、市外からの認知度アップというように、線で結ばれるとよい。議論だけで終わってはもったいない。

・副会長

基本目標1で「地域の文化・スポーツのイベントや活動の情報が行き渡る環境」とあるが、アンケートの報告にも触れながら述べたい。p.101問26の結果とp.136問7を見比べると、広報での発信頻度の割りに、市民の回答では割合が低い。SNSやインターネットは情報の入手に関しては割合が高い印象を受ける。SNSやインターネットなどの使い方も課題ではあるが、それらの媒体も情報を自ら取りに行かなければならない。情報に対して受け身の人に、いかにアクセスするかという点も踏まえていかなければならない。

・委員

個人的な活動ではあるが、摂津市の橋の本をつくった。摂津市の情報として広報に載せてもらえないだろうかと担当課に掛け合ってみたが、個人での活動ということでかなわないとのことだった。様々な面で情報発信をしていただきたいと思う。地域の近隣の歴史のことや、このような市民の活動があるということも発信していただきたいと思う。

・委員

高齢の方にいかに外に出てきたもらうかということ常日頃考えている。やはりその点では発信力が大事だと感じる。高齢の方々に元気よく外に出てきてほしいと思っている。

・会長

私からも意見を申し上げたい。摂津市の良さは市民の皆さんの穏やかさ、思いやり深いところである。意見の違いから揉めることはあっても、それは何かを成すためにどのように協力すればよいかということであり、大将通りの競争になるようなことはほとんどない。ただ、そのような良さは全国発信しにくいのが難点である。

しかし、摂津市のよいところや強みとして、まるで富士山に対抗するようなモノをつくることを考えなくてもよいのではないか。市民の皆さんや、市内で働く人、これから移住してこられる方々の暮らしが充実するための、文化芸術の活動方針ではないだろうか。

後継者やボランティア不足は切実な問題である。また、何年前にこの委員会で話題になったが、摂津市の公立施設のトイレは障がい者の方が使いにくく、施設を利用する際もトイレに行きたくなる前に帰らなければならないので、なんとかしてもらえないかという意見が出たこともある。

摂津市は財政規模が小さく、予算も限られている。個人的な考えだが、市民の皆さんがそうした活動にほんとうに参加できるようにという視点で考えると、富士山みたいなモノがなくてもよいので、公民館のトイレを洋式にできるように、先にそちらにお金を使ったほうがよいのではないかと、個人的にはそのように思う。

ビジョンをたてるにあたっては、摂津市が市民にとって暮らしよいまちであること、暮らしよいとはなにかということが大事ではないか。障がい者にとって不便なトイレのままでよいので他県に自慢できるまちがよい、という意見があったとしても一概に否定はしないが、摂津市はお互いに譲り合って、なんとかやっていくというのが強みではないかと思う。委員会の意見もそのようにまとまっていければと思う。他にご意見はあるか。

・委員

意見というよりはお願いだが、審議会は行政の案について意見や疑問を提出する場であるが、事前に部会を設けるなどできれば、もっと早い時期から様々な議論ができるのではないか。

第3期は無理かもしれないが、今後計画を策定していくなかで、各団体で活動されてきている方から出た意見をまとめていければと思う。そのようなことができれば、もっと皆さんの意見を反映できた計画になるのではないか。

もう一点お願いとして、わかりやすくまとめていただきたい。一般市民が読んだ際にわからな

い部分がないよう、できるだけわかりやすい表現にしていきたい。

また、案ができれば早めに見せていただき、訂正が必要な部分があれば修正するといったことをお願いしたい。

・事務局

骨子案に関することではないが、本田委員がご出席かなわず、事前にご意見を預かっているのでご紹介する。

市民ギャラリー設立に関するご意見である。絵画や写真作品を常時展示する場が無いようでは制作意欲が停滞する。他市のギャラリーに展示している。市にも要望したがかなわなかった。今後、市内のそうした場を設けられたらと思うが、すぐにできるものでないのであれば、今後の若い人たちのために検討してほしい、という内容である。

・委員

わかりやすい表現でまとめてほしいというご意見はその通りと思う。わかりやすさは重要である。市民のための内容にしてほしい。

暮らしよいまちというキーワードがあったが、やはり抽象的ではある。これからの5年はSDGsも避けて通れない。例えば、暮らしよいまちというものを数値に落とし込んでSDGsのどれに関与しているかというリンクをさせ、その関与率が高いまちを目指すような、市民全員が暮らしよいまちを自分たちで実現させてくのもアイデアの一つかと思う。

・副会長

アンケートの結果をみると、市外の施設を利用されている方が多い。これについて考えると、通勤・通学で市外へ行かれる方は、市外に便利なものがあればそちらを利用されるということかと思う。そうしたなかで摂津市の方向性としてどうしていくべきかであるかを考えると、市民や、仕事も市内で完結する人には、やはり機会や場所、情報が必要であると考え。

外向きに摂津市の良さを発信する側面と、市内に情報が伝わっていくものがほしい。情報については、どの世代にも共通するものは口コミとなっている。人と人が会う機会がなければ伝わっていかない。大学で勤務する者としては、大学の学祭へ芸術文化の団体さんに来ていただき、活動を知ってもらうなど、出会いの場をつくっていくことも必要かと感じた。

・会長

事務局には先程からの意見を活かしていただき、まとめていただきたいと思う。

案件4「その他」

- ・会長

案件4について、事務局より説明をお願いします。

- ・事務局

案件4「その他」説明。

- ・会長

ご意見はあるか。

- ・委員

年間で会議日程を決めていただけると、優先してスケジュールを決められるのでお願いしたい。

- ・委員

今で申し訳ないが、先程の情報発信という点について、以前ケーブルテレビを使って情報発信をされていたと思う。そうした取り組みはいかがか。

- ・事務局

市の規模でケーブルテレビは自前では難しい。J:COMの北摂局で取材いただく機会もあるので、定期的なものではないが、都度、情報発信につながるものもあれば協力してやっていきたい。

- ・会長

では本日の議事が全て終了したため、第2回目の審議会を閉会する。